

い た じ ま じ ょ う あ と

# 板 島 城 跡

事業名	一般国道56号(和霊歩道)埋蔵文化財発掘調査
調査委託者	愛媛県教育委員会(国土交通省四国地方整備局)
調査受託者	財団法人愛媛県埋蔵文化財調査センター
遺跡名	板島城跡
場所	宇和島市和霊町字亀次
調査面積	2,500 m <sup>2</sup>
調査期間	平成21年7月13日～平成21年11月30日(予定)





# 調査によって検出された遺構・遺物

遺構: 柱穴(約20穴)・土坑(3基)  
通路状平坦面・溝状遺構

遺物: 縄文土器 弥生土器  
中世須恵器 土師器  
備前焼 常滑焼  
瀬戸・美濃焼 瓦質土器  
青磁 肥前陶磁器  
茶臼 砥石 石硯 銅銭



堀切か?



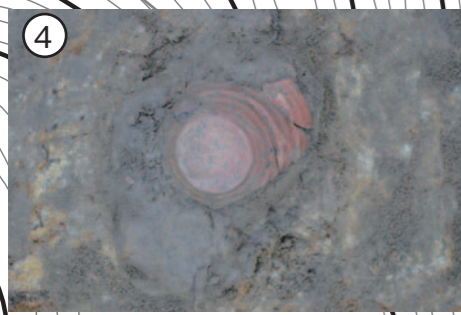
(柱穴と土坑)



(斜面の様子)



(最上段の郭)



(土師器出土状況)

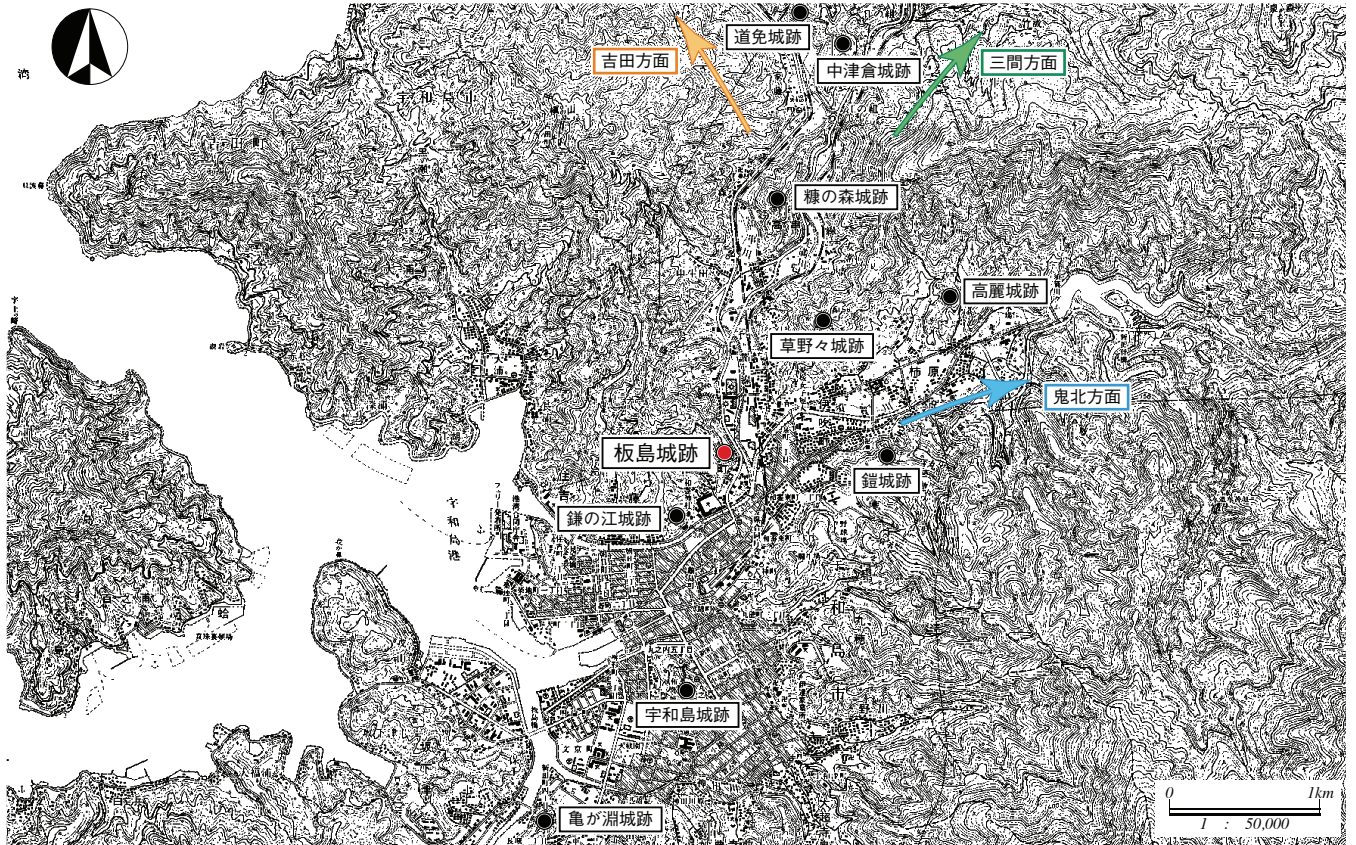


(通路状平坦面)

## 調査区全体図

- 用地範囲
- 調査区 (面積約2,500m<sup>2</sup>)
- 郭





周辺の主な中世山城跡

B C 三 三 〇 〇 〇	B C 三 三 〇 〇 〇	B C 三 〇 〇	A D 一	一 〇 〇	二 〇 〇	三 〇 〇	四 〇 〇	五 〇 〇	六 〇 〇	七 〇 〇	八 〇 〇	九 〇 〇	一 〇 〇	一 一 〇 〇	一 二 〇 〇	一 三 〇 〇	一 四 〇 〇	一 五 〇 〇	一 六 〇 〇	一 七 〇 〇	一 八 〇 〇	一 九 〇 〇
旧石器時代	縄文時代	弥生時代	古墳時代	古代			中世			近世		近代										
			飛鳥時代	奈良時代	平安時代	鎌倉時代	南北朝時代	室町時代	安土桃山時代	江戸時代												

二二二六	一五三二	一五六九	一五七五	一五八四	一五八五	一五八七	一五九五	一五九六	一六一四
西園寺実氏が宇和郡(宇和島市・北宇和郡・東宇和郡)を取得。	城(現在の宇和島城)の城主か?。	家藤監物が板島丸串城に移る。	西園寺宣久が板島丸串城に移る。	土佐の長宗我部氏に服従する。	豊臣秀吉の四国征伐。小早川隆景が宇和郡領主となる。この頃板島城が廃城。	戸田勝隆が宇和郡領主となる。	藤堂高虎が宇和郡領主となる。	藤堂高虎が宇和島城の築城を開始。	伊達秀宗が就封。

宇和郡および宇和島周辺関連略年表

板島城(亀次城)跡の位置は旧宇和島市の北部で、吉田・三間・鬼北方面からの結節点にあたります。周辺でも点々と山城跡が確認されており、重要な位置であったと想定されます。

この板島城は天正13(1585)年頃の廃城であると言われています。今回の調査では、その頃の遺物はほとんど確認できませんでしたが、室町時代(15世紀頃)の遺物(土師器・備前焼・青磁・天目茶碗など)が多く見つかりました。これらの遺物から、城主と言われている「板島志摩守」は喫茶を嗜む文化的側面の強い人物であったことがうかがえます。一方、調査区の大半が斜面部ということもあり遺構の検出は少数でした。